仕入及び売上の割引

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　割引の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

①　仕入割引：「仕入割引」勘定（営業外収益）

②　売上割引：「売上割引」勘定（営業外費用）

割引（わりびき）とは、掛け代金の決済を決済期日前の定められた一定期間内に行った場合に、実際の支払日から決済期日までの利息相当額を減額することをいいます。

割引の性質は利息相当額であり財務活動から生じるものですので、割引は**営業外損益**として処理します。

（１）仕入割引

買掛金の決済を決済期日より早く行ったことにより、掛代金の一部を減額された場合、「**仕入割引**」勘定（**営業外収益**）で処理します。

仕入割引は「仕入」という文字が付きますが、費用（借方）でなく、収益（貸方）ですので注意して下さい。また、仕入割戻と言葉が似ているため、間違えないように注意して下さい。

例題　**買掛金1,000円を割引有効期限内に支払うことになったので、割引30円を受けた。**

仕入時に以下の仕訳を行っています。

仕　　入　1,000 / 買　掛　金　1,000

借方科目	金額	貸方科目	金額
買掛金	**30**	**仕入割引**	**30**

仕入割戻	一定量を購入したので**仕入代金**を安くしてもらうこと	**仕入**勘定を減額
仕入割引	早期決済により、**掛代金**を減額してもらうこと	**仕入割引（収益）**

（２）売上割引

売掛金の決済を決済期日より早く行った得意先に対して、掛代金の一部を減額した場合、「**売上割引**」勘定（**営業外費用**）で処理します。

売上割引は「売上」という文字が付きますが、収益（貸方）でなく、費用（借方）ですので注意して下さい。また、売上割戻と言葉が似ているため、混同しないように注意して下さい。

例題　**売掛金1,200円を割引有効期限内に回収することになったので、割引50円を行った。**

売上時に以下の仕訳を行っています。

売　掛　金　1,200 / 売　上　1,200

借方科目	金額	貸方科目	金額
売上割引	**50**	**売掛金**	**50**

売上割戻	一定量を購入したので**売上代金**を安くすること	**売上**勘定を減額
売上割引	早期決済により、**掛代金**を減額すること	**売上割引（費用）**

総平均法

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

① 総平均法のルールを覚えよう！

② 商品有高帳に記入できるようになろう！

③ 売上原価や期末商品の金額を算定できるようになろう！

商品の払出単価の計算方法として、日商簿記３級では、先入先出法（さきいれさきだしほう）と移動平均法（いどうへいきんほう）を学習しましたが、２級では総平均法（そうへいきんほう）を学習します。

総平均法とは、一定期間の仕入商品に対して総平均単価を求め、これを払出単価とする方法です。総平均単価は以下の式で算定します。

$$\textbf{総平均単価} = \frac{\textbf{期首商品棚卸高＋当期商品仕入高}}{\textbf{期首商品数量＋当期商品仕入数量}}$$

例題　**９月の商品の仕入と売上の状況は以下のとおりです。総平均法を採用している場合の売上原価と月末商品における商品の金額を答えなさい。**

９月初	**商品在庫**	**20個**	**@100円**
５日	**仕　　入**	**30個**	**@110円**
10日	**売　　上**	**40個**	
15日	**仕　　入**	**50個**	**@112円**
20日	**売　　上**	**45個**	
９月末	**商品在庫**	**15個**	

（総平均法）　　商　品　有　高　帳

日付		摘要	受入			払出			残高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
9	1	前月繰越	20	100	2,000				20		
	5	仕　　入	30	110	3,300				50		
	10	売　　上				40			10		
	15	仕　　入	50	112	5,600				60		
	20	売　　上				45			15		
	30	次月繰越				15	109	1,635			
			100	109	10,900	100		10,900			

$$\frac{\text{月初}2{,}000＋\text{仕入}(3{,}300＋5{,}600)}{\text{月初}20\text{個}＋\text{仕入}(30\text{個}＋50\text{個})}＝\text{総平均単価}@109$$

売上原価：総平均単価@109×売上(40個＋45個)＝9,265

月末商品：総平均単価@109×月末在庫15個＝1,635

棚卸減耗

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　棚卸減耗の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

③　P/Lの表示区分を覚えよう！

主な勘定科目

「棚卸減耗費」勘定（費用）

商品の決算整理は、まず、期末商品帳簿棚卸高の算定を行い、次に、棚卸減耗費の算定の順番で行います。

（１）期末商品帳簿棚卸高の算定

会社では通常、商品有高帳を設けて商品の受入や払出を継続的に記録し、商品の有高を管理します。この商品有高帳における期末商品数量を**期末帳簿数量**といい、この数量に先入先出法や移動平均法、総平均法などの方法で算定された１個あたりの仕入原価（払出単価）を乗じた金額を**期末商品帳簿棚卸高**といいます。売上原価はこの期末商品帳簿棚卸高をもとに算定します。

期末商品帳簿棚卸高 ＝ @仕入原価 × 期末帳簿数量
売上原価 ＝ 期首商品棚卸高 ＋ 当期商品仕入高 － 期末商品帳簿棚卸高

・三分法における売上原価の算定の仕訳

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
仕　　入	×××	**繰 越 商 品**	×××
繰 越 商 品	×××	**仕　　入**	×××

（２）棚卸減耗費の算定

会社では、期末に実地棚卸を行い、商品の数量を実際に数えます。この実地棚卸による期末商品数量を**実地棚卸数量**といい、この数量に１個あたりの仕入原価（払出単価）を乗じた金額を**期末商品実地棚卸高**といいます。

実地棚卸を行うことによって､紛失や盗難等の販売以外の原因で商品が減少した数量(棚卸減耗数量）が把握できます。この商品の減少のことを**棚卸減耗**といい、棚卸減耗数量に１個あたりの仕入原価を乗じた金額を**棚卸減耗費**といいます。

棚卸減耗費は商品が減少したので､「**棚卸減耗費**（または**棚卸減耗損**）」勘定（費用）で処理します。また、棚卸減耗の分だけ、期末商品帳簿棚卸高より減少したので、「**繰越商品**」勘定（資産）を減少させます。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
棚　卸　減　耗　費	×××	**繰　越　商　品**	×××

棚卸減耗費 ＝ 期末商品帳簿棚卸高 － 期末商品実地棚卸高
＝ @仕入原価 × (期末帳簿数量 － 期末実地数量)

B/S 商 品 ＝ 期末商品帳簿棚卸高 － 棚卸減耗費
＝ @仕入原価 × 期末実地数量

２級では問題に指示があることが多いですが､棚卸減耗費は､原価性がある場合には｢**売上原価の内訳科目または販売費**｣、原価性がない場合には「**営業外費用または特別損失**」に計上します。なお、原価性があるとは通常の管理を行っていたうえでやむを得ず発生したものを原価性があるといいます。

例題　**決算整理前残高試算表と商品の期末棚卸高は次のとおりであった。**

決算整理前残高試算表（一部）

繰越商品	**200**	**売上**	**1,500**
仕入	**1,100**		

帳簿棚卸高　数量10個　原価@10円

実地棚卸高　数量８個　原価@10円

①　決算整理仕訳

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**200**	**繰越商品**	**200**
繰越商品	**100**	**仕入**	**100**
棚卸減耗費	**20**	**繰越商品**	**20**

期末商品帳簿棚卸高：@10×帳簿数量10個＝100

棚卸減耗費：@10×(帳簿数量10個－実地数量８個)＝20

②　決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表（一部）

繰越商品	80	売上	1,500
仕入	1,200		
棚卸減耗費	20		

繰越商品：@10×実地数量８個＝80

③　損益計算書

棚卸減耗費を**売上原価の内訳科目**として表示する場合、以下のようになります。

損　益　計　算　書

Ⅰ	売　　上　　高		1,500
Ⅱ	売　上　原　価		
	1　期首商品棚卸高	200	
	2　当期商品仕入高	1,100	
	合　　計	1,300	
	3　期末商品棚卸高	100	
	差　　引	1,200	
	4　**棚　卸　減　耗　費**	**20**	1,220
	売　上　総　利　益		280

棚卸減耗費を**販売費**として表示する場合、以下のようになります。

損　益　計　算　書

Ⅰ	売　　上　　高		1,500
Ⅱ	売　上　原　価		
	1　期首商品棚卸高	200	
	2　当期商品仕入高	1,100	
	合　　計	1,300	
	3　期末商品棚卸高	100	1,200
	売　上　総　利　益		300
Ⅲ	販売費及び一般管理費		
	棚　卸　減　耗　費	**20**	20
	営　業　利　益		280

（３）精算表の記入

例題　**精算表を作成しなさい。なお、期末商品帳簿棚卸高は800円であり、棚卸減耗費は50円であった。**

精　算　表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	700							
仕入	2,000							

必要な決算整理仕訳を考え、精算表に記入します。

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**700**	**繰越商品**	**700**
繰越商品	**800**	**仕入**	**800**
棚卸減耗費	**50**	**繰越商品**	**50**

精　算　表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	700		**800**	**700**			**750**	
				50				
仕入	2,000		**700**	**800**	**1,900**			
棚卸減耗費			**50**		**50**			